

J-STAGE ジャーナルコンサルティング ミニセミナー Q&A まとめ

2020 年度開催のミニセミナーにおいて参加者から寄せられた質疑応答の一部を抜粋してまとめられています。

◆オープンアクセス (OA)

※ ジャーナルの OA 化に関する詳しい情報については、下記の資料もご覧ください。

J-STAGE “『J-STAGE 掲載ジャーナルのためのオープンアクセスガイド』”

https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_openAccessGuide.pdf

質問	回答
欧米は論文の OA 公開を義務として進めているとのことだが、3~5 年先には大半の優良ジャーナルが OA 誌になっていると考えるべきなのか？	将来の予測は困難だが、学術コミュニケーションの専門家の間では今後 OA 誌の割合は増えていくと予測されている。ただ、3~5 年先に大半が、と言えるほど急速なものではないと考えられる。
国内向けの日本語の学会誌やメジャーでないジャーナルの場合にも、CC ライセンス付与や DOAJ 申請などの OA 誌としての整備が今後必要になってくるのか？	CC ライセンスは論文の流通拡大を促進するものとして、DOAJ は信頼できる OA ジャーナルであることを示す手段としてそれぞれ機能するため、現状国内での認知度は低いものの、将来的にはジャーナルの安定的な存続を考えるうえで重要になると考えられる。
一定期間認証をかけた後、CC ライセンス付きの無料アクセスとして公開しているジャーナルは、OA とは言えないのか？	OA の要件である「無料アクセス」「CC ライセンスによる二次利用条件の明記」を満たしているが、出版後一定期間認証をかける形態は、DOAJ や多くの資金助成機関が求める「フル OA」の要件を満たしていないため、享受できるメリットが少なくなる。フル OA であるためには「出版と同時に OA として流通する」ことが条件となる。
自誌は OA 誌なので、J-STAGE の資料トップ画面に「オープンアクセス」のアイコンを表示させたい。	J-STAGE の編集掲載システムから発行機関自身で設定を行い、アイコンを表示させることができる。

◆CC ライセンス

※ CC ライセンス全般に関する詳しい情報は、クリエイティブ・コモンズ・ジャパンのウェブサイトをご覧ください。

クリエイティブ・コモンズ・ジャパン “FAQ よくある質問と回答”

<https://creativecommons.jp/faq/>

質問	回答
CC ライセンスの付与にあたって、ジャーナル側が著作権を保持する場合も著者の承諾が必要か？	法的には不要だが、著者と発行機関の良好な関係性の点から承諾を得ておくことを推奨する。著作権および CC ライセンスの取り扱いについて投稿規程に明示することで、著者がそれらに承諾したうえで論文を投稿してきたものと判断できる。
認証ジャーナルでも CC ライセンスを付与できるか？	認証ジャーナルあるいは有料のジャーナルであっても CC ライセンスは付与できる。ただし、許諾無しでの再配布を認めることになるので、認証をかけていることや有料で提供していることの意義が薄れる可能性がある。
CC ライセンスを付与したのち、著作権管理はどのようにするのか？	非営利目的での転載や再配布に関する手続きについては、CC ライセンスの付与により基本的に不要となる。ただし、NC を含むライセンスを利用する場合は営利目的での利用について、ND を含むライセンスを利用する場合は改変利用について、個別の許諾が必要となる。
他の論文から図を転載している論文に CC ライセンスを付与する場合、転載している図のクレジット表示はどうなるのか？	図の著作権は転載元にあるため、転載先の論文と区別して転載元のクレジットを表示することになる。
CC ライセンスの導入において、学会メンバーや著者の合意を得る際の注意点はありますか？	CC ライセンスについて十分に理解できていないと導入が進まないことが多い。CC ライセンスを利用する目的や、想定される作業フローの変化などについて学会メンバーが十分に理解したうえで、どのライセンスを採用するか議論する必要がある。

◆DOAJ への掲載申請

※ DOAJ 全般に関する詳しい情報は、DOAJ のウェブサイトをご覧ください。

DOAJ “FAQs” <https://doaj.org/docs/faq/>

質問	回答
和文誌でも DOAJ に掲載されるか？	DOAJ は言語を問わず良質な OA 誌を掲載しており、和文誌でも区別なく掲載される。掲載審査には日本語のわかるスタッフが対応する。
ジャーナルコンサルティングを受けずに、学会が独自に DOAJ に申請してもよいのか？	問題無い。これまでもジャーナルコンサルティングを受けず独自に DOAJ に申請し、掲載に至った J-STAGE 登載誌がある。
CC ライセンスの付与がジャーナルの途中号からであっても DOAJ の掲載対象となるか？	以下を満たすことで掲載対象となる。 <ul style="list-style-type: none"> ・CC ライセンスの付与を開始するタイミング(「〇巻〇号以降の掲載分」「20XX 年 XX 月 XX 日以降に投稿された論文」など)について投稿規程に明記している ・CC ライセンスの付与された論文が既に 1 件以上公開されている
DOAJ への掲載は、他のジャーナルデータベース (Web of Science、Scopus 等) への掲載に影響を与えるか？	各種データベースはそれぞれ掲載要件が異なり、DOAJ への掲載が直接影響を与えることはない。ただし、DOAJ の掲載基準は健全なジャーナル運営体制の実現のために備えておくべき要件と言えるため、DOAJ の掲載要件を満たすことでジャーナルのレベルの底上げが期待でき、その結果として他のデータベースへ掲載されるといった可能性はある。

© 2021 Japan Science and Technology Agency



この文書はクリエイティブ・コモンズ[表示 4.0 国際]ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>